

2023  
Vol.34

増刊号-II

# 老年精神 医学雑誌

Japanese Journal of Geriatric Psychiatry

## 第38回日本老年精神医学会 プログラム・抄録集

大会長 布村明彦 (東京慈恵会医科大学附属第三病院精神神経科)  
会期 2023年10月13日(金)~14日(土)  
会場 日本教育会館

# 老年精神 Vol.34 増刊号—II 医学雑誌

Japanese Journal of Geriatric Psychiatry — Oct. 2023

## 目次

### 第 38 回日本老年精神医学会 プログラム・抄録集 テーマ：百寿社会を生きる 脳とこころのレジリエンス

大会長挨拶	3
第 38 回日本老年精神医学会の開催にあたって	
会場へのご案内・会場配置図	4
大会参加者へのご案内	8
講演についてのご案内	12
大会長講演，特別講演，教育講演，シンポジウム， 共催セミナー，簡易な神経所見のとり方実践講座， 神経学的所見のとり方実践講座（アップグレードコース）等のご案内	15
日程表	28
一般演題 座長・演者一覧	32
第 38 回秋季日本老年精神医学会大会プログラム	37
大会長講演，特別講演，教育講演，シンポジウム	38
一般演題（口頭発表）	57
一般演題（ポスター発表）	65
講演抄録	73
大会長講演	73
特別講演	75
教育講演	79
シンポジウム	101
演題抄録	193
口頭発表	193
ポスター発表	207
人名索引	224
第 38 回春季日本老年精神医学会 プログラム・抄録集 記録	232

認知症に関するあなたのいまの知識は  
最新といえますか !?



Dr. Stahl の

# 図解・アルツハイマー病と その他の認知症

著者: Stephen M. Stahl, Debbi Ann Morrisette  
訳者: 諸治 隆嗣, 松下 正明

本書は、次のような目的をもって  
制作されました。

- アルツハイマー病 (AD) をはじめとする認知症の神経生物学的ならびに分子生物学的基盤を解明すること。
- 認知症患者の鑑別診断を実証されたベストプラクティスによって行うこと。
- 現在利用可能な認知症治療法の有用性を見分けること。
- 認知症の治療のために開発中の新規化合物に関する研究の現状を詳細に調べること

**A5 判 / 260 頁**

**定価 :**

**本体 3,600 円 + 税**



株式会社 ワールドプランニング  
〒162-0825 東京都新宿区神楽坂 4-1-1  
E-mail: wp-office@worldpl.co.jp

**TEL :03-5206-7431**  
**FAX :03-5206-7757**  
<https://worldpl.co.jp>

大会長挨拶

## 第 38 回日本老年精神医学会の開催にあたって

このたび第 38 回日本老年精神医学会の大会長を拝命いたしました東京慈恵会医科大学附属第三病院精神神経科の布村です。伝統ある本学会の学術集会を担当させていただくことになり、大変光栄に存じます。2023 年の本大会では、理事会承認のもと会期を春季と秋季の 2 回に分けて開催する新しい試みを導入いたしました。

春季大会は、2023 年 6 月 16 日（金）～18 日（日）、パシフィコ横浜ノースにおいて日本老年学会を構成する 7 学会（加盟年順に日本老年医学会、日本老年社会科学会、日本基礎老化学会、日本老年歯科医学会、日本老年精神医学会、日本ケアマネジメント学会、日本老年看護学会）が合同開催する第 33 回日本老年学会総会に合わせて開催されます。この会期に先立つ 6 月 12 日（月）～15 日（木）には第 12 回 IAGG アジア／オセアニア国際老年学会議が同会場で開催され、国際的・学際的“Gerontology Week”を堪能いただける素晴らしい機会が準備されています。春季大会における 7 学会との合同シンポジウムでは、本学会が主催するシンポジウム「高齢者のうつ病と認知症」のほか、「高齢者の就労：ケアを受けながら働くハイブリッドワーク」「高齢ドライバーの自動車事故リスクの把握」「コロナ禍における認知症診療の課題」「避難所における認知症支援」「認知症高齢者のエンドオブライフと意思決定支援」「認知症の人の在宅診療における課題」「基幹病院におけるせん妄ケアチームの活動」および「人生 100 年時代の認知症と心の健康問題」など本学会会員による興味深い講演が予定されています。

秋季大会は、2023 年 10 月 13 日（金）～14 日（土）、日本教育会館（東京都千代田区）において通常大会の構成で開催され、一般演題・シンポジウムはもちろんのこと、特別講演、教育講演、ならびに共催セミナーなど多数企画いたします。プログラム委員会を開催して鋭意準備を進めてまいります。皆さま方からもぜひユニークなご提案をいただければ幸いです。一般演題の募集期間は 2 月 14 日～4 月 13 日を予定しています。

春季・秋季大会に共通の大会テーマとして「百寿社会を生きる脳とこころのレジリエンス」を掲げました。老年期の心理・社会的要因のみならず、脳病理をはじめとする生物学的要因に対しても脳とこころがレジリエンスを発揮し得ることが近年の研究から明らかにされています。基礎から臨床実践まで幅広い研究に通底するレジリエンス概念を核として、老年精神医学に関わる多職種が連帯を深め、明日の臨床・介護福祉現場の活力向上につなげていただきたいというメッセージを込めました。副大会長は平川淳一先生（平川病院院長、東京精神科病院協会会長、日本精神科病院協会副会長）ならびに忽滑谷和孝先生（東京慈恵会医科大学附属柏病院精神神経科教授）にお引き受けいただきました。また、事務局長は教室の矢野勝治が務めますので、ご提案・ご要望・ご質問がございましたらお知らせください。

コロナ禍の行方はいまだ定かではありませんが、適切な感染対策を施したうえで現地での対面を基本として開催する予定です。多くの皆様にご参集いただき、熱い議論の場となると同時に温かい交流の場となることを期待しております。是非とも春の横浜会場、そして秋の東京会場へとお越しくださいますようお願い申し上げます。

2022 年 12 月 13 日

第 38 回日本老年精神医学会大会長

東京慈恵会医科大学附属第三病院精神神経科・教授 布村 明彦

## 会場のアクセス



### 【最寄駅のご案内】

- 地下鉄都営新宿線・都営三田線・東京メトロ半蔵門線神保町駅（A1出口）徒歩約3分
- 東京メトロ東西線竹橋駅（1a出口）徒歩約5分

### 【新幹線利用の場合】

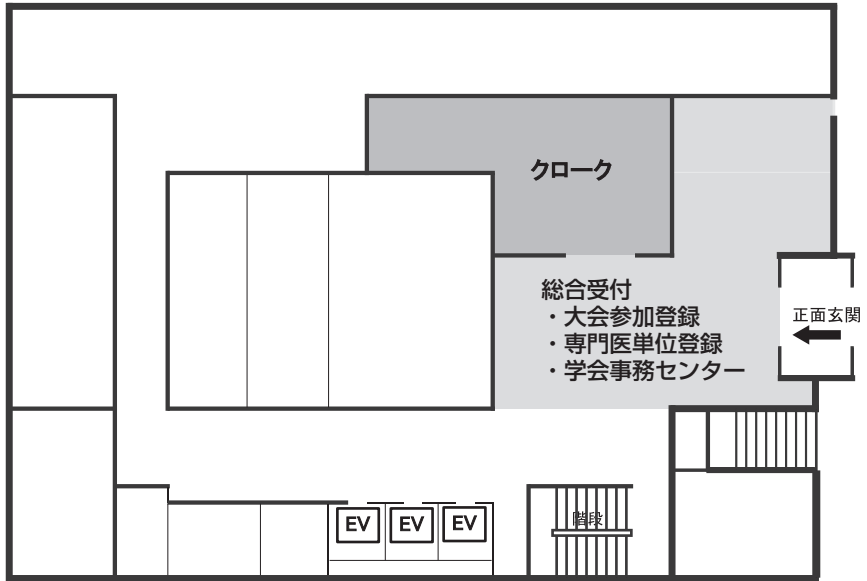
- 東京駅からお越しの場合：東京メトロ丸ノ内線東京駅乗車，大手町駅で半蔵門線に乗換のうえ，神保町駅下車

### 【羽田空港利用の場合】

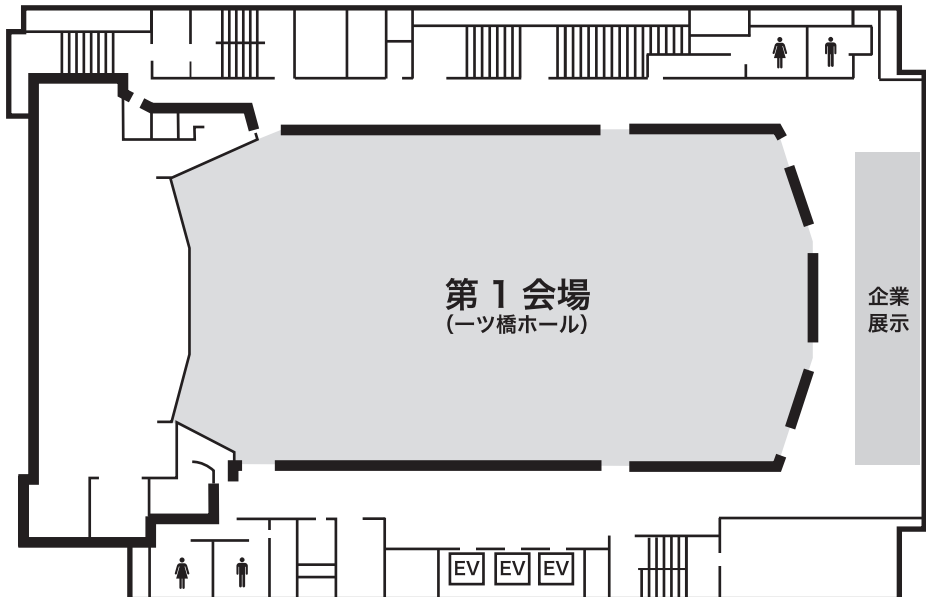
- 羽田空港からお越しの場合：京急羽田空港乗車，都営浅草線三田駅で都営三田線に乗換のうえ，神保町駅下車

## 会場平面図

1F

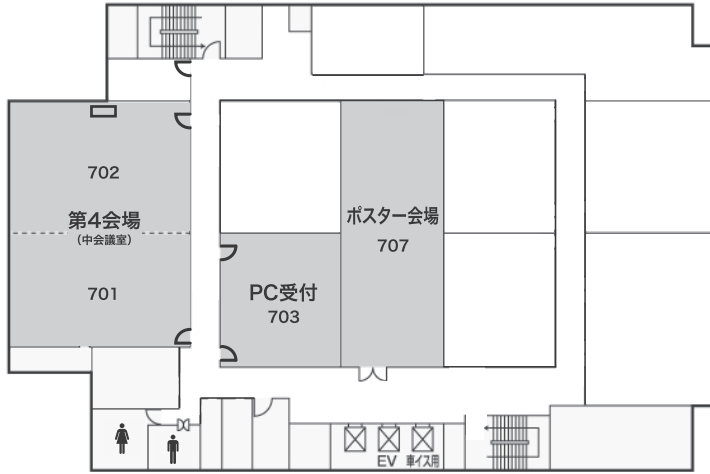


3F

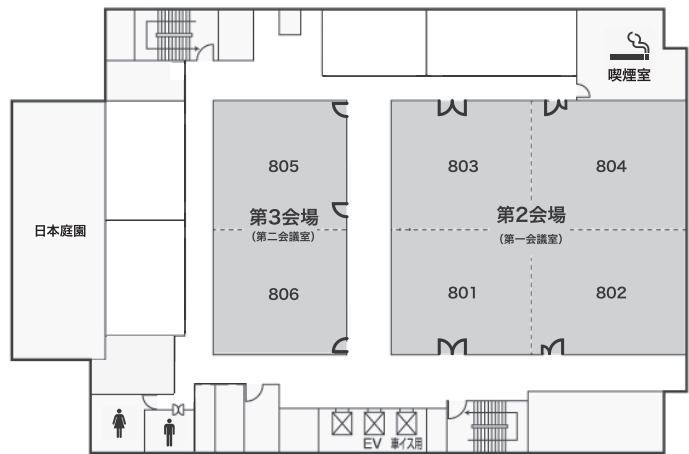


# 会場平面図

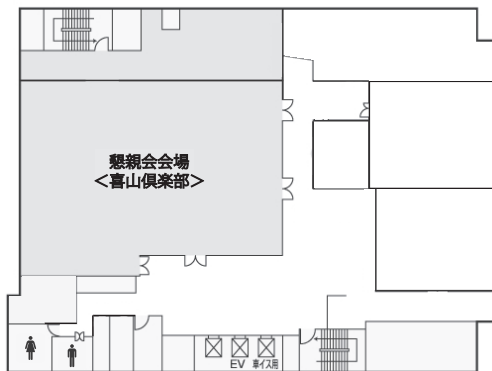
7F



8F



9F







## 大会参加者へのご案内

**大会長** 布村 明彦（東京慈恵会医科大学附属第三病院精神神経科）  
**副大会長** 平川 淳一（平川病院，東京精神科病院協会，日本精神科病院協会）  
忽滑谷和孝（東京慈恵会医科大学附属柏病院精神神経科）  
**開催日** 2023年10月13日（金）～14日（土）  
**会場** 日本教育会館  
〒101-0003 東京都千代田区一ツ橋2丁目6-2  
Tel：03-3230-2831（代） URL：https://www.jec.or.jp/

### 参加登録受付／学会事務センター受付

参加受付について

本学会はWEB配信（LIVE配信およびオンデマンド配信）は行いません。現地開催のみとなりますのでご注意ください。

**【事前参加登録をされた方】** 事前に登録されたご住所へお送りしております参加証（ネームカード）に、氏名・ご所属をご記入のうえ、会場内では必ずご着用ください。

※当日紛失などで再発行する際には、お時間をいただく場合がございますので、ご了承ください。

●事前参加費（抄録集およびポケットプログラム含む）

登録方法：インターネットのみ

会員：10,000円／非会員：10,000円

春季日本老年精神医学会参加者（会員・非会員）：5,000円

※参加証は所属氏名をご記入の上、会期中はご着用をお願い致します。

※消費税の取扱については「会員／不課税，非会員／課税」となります。

**【当日参加登録の方】** 学会当日に当日登録用紙をご記入のうえ、本学会参加登録受付にて参加登録を行ってください。受付でお渡しするネームカードに、氏名・ご所属をご記入のうえ、会場内では必ずご着用ください。

●当日参加費

会員：12,000円／非会員：12,000円

春季日本老年精神医学会参加者（会員・非会員）：7,000円

※お支払いは現金のみです。

※参加証は所属氏名をご記入の上、会期中はご着用をお願い致します。

※消費税の取扱については「会員／不課税，非会員／課税」となります。

<10月13日（金）>

日本教育会館 1階 7:45～16:00

<10月14日（土）>

日本教育会館 1階 7:45～16:00

## 懇親会／各賞授与式

日時：10月13日（金）18：00～20：00

会場：日本教育会館「喜山倶楽部『飛鳥』，9F」

〒101-0003 東京都千代田区一ツ橋2丁目6-2

参加費：5,000円

申込方法：参加登録受付時にあわせてお申込みください。

\*定員になり次第，受付を終了する場合がございます。

## 大会プログラム抄録集

大会期間中は（株）ワールドプランニングブース（13日～14日：一ツ橋ホール「ホワイエ」，3階）にて2,000円で販売しております。

## 会場での呼び出し

会場内での呼び出しは一切行いません。緊急の場合は日本老年精神医学会参加登録受付（1階入口）にて承り，掲示板（一ツ橋ホール「ホワイエ」，3階）にて対応をいたします。

## クローク

場 所：1階入口付近

受付日時：10月13日（金）7：45～18：00

10月14日（土）7：45～18：00

## 併設展示・書籍展示

場 所：一ツ橋ホール「ホワイエ」，3階

10月13日（金）8：30～17：40

10月14日（土）8：30～17：40

## 日本老年精神医学会認定専門医，専門心理士，上級専門心理士，認定医単位登録方法

重要：春季大会および秋季大会参加に伴う単位登録について

※春季大会参加のみ：例年と同じ（参加10単位，発表者5単位，司会者3単位／最大合計15単位）

秋季大会参加のみ：例年と同じ（参加10単位，発表者5単位，司会者3単位／最大合計15単位）

<第38回（2023年）のみ>春秋大会両方に参加した場合：両方参加15単位，両方発表者5単位，両方司会者3単位／最大合計20単位

各資格保有者の方は，必ず「認定カード」をご持参いただき事務センター受付（1階入口付近）で参加単位登録を行ってください。また，カードをお忘れの方，紛失・再発行をご希望の方は，事務センター受付までお申し出ください。

カードの紛失・再発行の場合は2,000円（税別）で後日，再発行します。

更新時に必要になる単位数：専門医（50単位），専門心理士（20単位），上級専門心理士（30単位），認定医（30単位）

## 日本精神神経学会専門医単位登録方法

日本精神神経学会の専門医単位登録方法が、2017年4月以後より、当日の単位受付方法が変更になりました。

会期内1回の登録で3単位取得となります。

登録場所・日時は下記のとおりです。

受付場所：1階入口付近

受付時間：10月13日（金）7:45～16:00

10月14日（土）7:45～16:00

## 日本神経学会専門医単位登録方法

春季大会における単位は認められておりません。

秋季大会に参加いただくことによって以下の単位が認められています。ご注意ください。

認定単位：2単位

本学会秋季大会参加証（コピー）を保管していただき、更新の際に日本神経学会にご提出ください。

## 年会費納付、登録事項変更および入会のお申込み等

年会費納付、所属先等登録事項変更、入会を希望される方は、事務センター受付（1階入口付近）をお尋ねください。

## 準機関誌「老年精神医学雑誌」販売および論文投稿

準機関誌「老年精神医学雑誌」等の書籍は、（株）ワールドプランニングブース（一ツ橋ホール「ホワイエ」, 3階）にて販売しております。「老年精神医学雑誌」への論文投稿に関するご質問等については、事務センター受付（一ツ橋ホール「ホワイエ」, 3階）までお尋ねください。

## ランチョンセミナー

お1人様につきランチョンセミナー整理券1枚を、下記配布場所で当日分を配布いたします。

会場前にて「ランチョンセミナー整理券」と交換に、お弁当をお受取りください。

配布場所：1階入口付近

配布日時：10月13日（金）7:45～11:15

10月14日（土）7:45～11:15

※整理券がなくなり次第終了となりますが、残券がある場合のみ、各会場前にて、11:15以降配布いたします。セミナー開始時には、必ず会場へお入りください。セミナー開始5分後までにご入場されない場合には、引換券をお持ちでも、ご入場をお断りすることもございますので予めご了承ください。

## 会場内でのお願い

- ・発表内容の写真撮影（カメラ付携帯電話も含む）およびテープ録音などはご遠慮ください（必要な場合は、必ず発表者の許可を得てください）。
- ・会場内での携帯電話の使用はご遠慮ください。

## 災害発生時の避難

- ・災害発生時には、各会場にて避難のアナウンスがありますので、それに従ってください。

## 感染対策に関する方針

マスク着用について、国の指針では、個人の主体的な選択を尊重し、着用は個人の判断に委ねることとなっていますが、本大会参加者の多くは医療従事者であり、勤務施設でも施設内マスク着用が義務化されている場合が多いことから、以下のような対応とさせていただきます。

- ・マスク着用について

- 1) 会場（建物）内は原則マスク着用をお願いします。
- 2) 発表中の座長・演者はマスクの着用は不要ですが、質問者はマスク着用をお願いします。
- 3) ポスター発表では、座長・演者・質問者共にマスク着用をお願いします。

- ・37.5℃以上の熱や咳、のどの痛みなどの症状がある方や全身倦怠感など体調がすぐれない方は、ご来場をお控えください。

- ・会場内では大きな声での会話はお控えください。

- ・会場内に設置した消毒液、手洗いなどでこまめな手指の消毒をお願いいたします。

- ・会場内では周囲の方との距離をあけて、密集を避けるようにご協力ください。

なお、今後の感染状況によっては、上記の内容が変更になる場合がありますが、ご了承くださいませようをお願いいたします。

## 講演についてのご案内

### 大会長講演・特別講演・教育講演・シンポジウム・簡易な神経所見のとり方実践講座・神経学的所見実践講座（アップグレードコース）：演者・座長の方へ

講演時間：セッションにより異なります。別途ご連絡しております書面にてご確認ください。

機 材：デジタルプレゼンテーション（1面）となります。「機材について」の項を参照してください。

受 付：演者の方は、PC本体または発表データをご持参のうえ、セッション60分前までに、PC受付【703会議室，7階】にお越しください。

※午前8時40分からのプログラムの場合は、40分前までにPC受付をお済ませください。

※前日受付（10月12日）は行なっておりません。10月14日のご発表については、13日にご登録いただくことはできません。

進 行：座長は講演開始15分前までに次座長席にお着きください。

各プログラム間に時間がないので、演者は前の演者の方の発表が始まりましたら次演者席にお着きいただき、座長の指示のもと講演を行ってください。時間厳守でお願いいたします。

### 一般演題（口頭発表）：演者・座長の方へ

座長は会場内の「進行席（右前方）」にて、演題取り消し等の連絡事項をご確認ください。

演者は進行および講演時間・発表について座長の指示に従ってください。

1演題12分（発表8分、質疑応答4分）といたします。

講演終了1分前に黄色ランプ、終了時間に赤色ランプが点灯します。時間厳守でお願いいたします。

セッション間に時間がないので、演者は発表開始10分前までに、次演者席にお着きください。

### 機材について

#### 【発表データ持参の場合（Windowsのみ）】

1. 会場で使用するPCのOSはWindowsで、アプリケーションはPowerPointです。なお、Macintoshの場合は、PC本体をご持参いただければ、対応いたします。
2. 発表用データを、CD-RまたはUSBメモリーに保存してご持参ください。保存されたファイル名は「演題番号・演題名」としてください。
3. 発表データは以下のもので作成してください。

[Windows版PowerPoint]

※Macintosh版PowerPointでの作成は、映像に支障をきたしますので、ご遠慮ください。

4. フォントはWindows版Microsoft PowerPointに標準で装備されているものでお願いいたします。画面レイアウトのバランス異常や文字化けを防ぐためにフォントは下記のものでお願いいたします。

日本語：MSゴシック／MSPゴシック／MS明朝／MSP明朝

英語：Times New Roman／Century

5. 会場のスクリーンは16：9のワイドサイズです。4：3のスライドでも投影可能ですが、16：9で

のスライド作成を推奨いたします。

6. 動画や音声を使用する場合は、ご自身の PC をご持参のうえ、PC 受付にて係にお申し出ください。
7. 発表データは、会場内の PC にいったんコピーさせていただきますが、学会終了後に主催者側が責任を持って消去いたします。
8. PowerPoint の「発表者ツール」機能はご使用頂く事が出来ませんので、予めご了承下さい。

#### 【PC 持参の場合 (Macintosh・Windows 動画使用)】

1. PC (Macintosh・Windows の動画使用の場合) はご自身でお持込みください。
2. お持込みいただきます PC は HDMI のモニター出力端子が必要となります。この端子が無い PC をお持込みいただく場合には、別途変換コネクタを必ずご用意ください。
3. 動画ならびに画像の制限はありませんが、事前に再生できるかご確認ください。本体の液晶画面に動画ならびに画像が表示されましても、実際に外部出力されない場合があります。発表データを作成された PC とお持込みいただく PC が異なる場合はご注意ください。
4. スクリーンセーバーならびに省電力設定は予め解除してください。
5. 電源ケーブルは必ずお持ちください。バッテリーでのご発表はバッテリー切れとなることがありますのでご注意ください。
6. 会場にて用意したプロジェクターと接続ができない場合に備え、バックアップ用のデータ (CD-R または USB メモリー) をご持参ください。
7. PC の返却：発表終了後の PC は会場前方左側の PC オペレーター席にて返却いたします。
8. PowerPoint の「発表者ツール」機能はご使用頂く事が出来ませんので、予めご了承下さい。

#### 演者受付 (口頭発表)

演者の方は、PC 本体または発表データをご持参のうえ、セッション開始の 60 分前までに、PC 受付にお越しください。

場 所：703 会議室, 7 階

日 時：10 月 13 日 (金) 7:45~16:30

10 月 14 日 (土) 7:45~16:40

#### 進行

1. 座長の進行により、発表・討論を行ってください。
2. 座長は講演開始 15 分前までに次座長席にお着きください。
3. 演者は発表開始 10 分前までに次演者席にお着きください。

### 一般演題（ポスター発表）：演者・座長の方へ

ポスター会場（707 会議室，7 階）の「ポスター受付」にて受付をすませてください。出欠ならびに必要事項の確認をさせていただきます。座長はセッションの 15 分前までにお越しください。

演者ならびに座長は，指定のリボンを前胸部にお着けください。

※ポスターは 2 日間の掲示となりますのでご注意ください。

### ポスター会場：707 会議室（7 階）

	貼付	掲示・閲覧	発表	撤去
10 月 13 日（金）	8：30～12：00	12：00～17：40	13：15～16：35	
10 月 14 日（土）		7：45～15：00	9：15～11：35	15：00～16：00

※決められた時間内に撤去されなかったポスターは事務局にて破棄いたします。

ポスターの掲示は 2 日間となります。撤去時間を過ぎて掲示してあるポスターについては，事務局が撤去し，処分してしまうことがありますので，あらかじめご承知おきください。

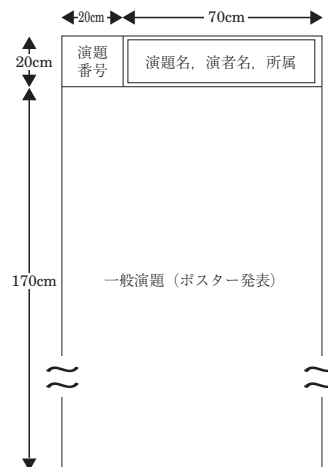
### 一般演題（ポスター発表）展示要項

ポスターの本文は，縦 170 cm×横 90 cm 内です。

パネルの左上角に演題番号（20 cm×20 cm）を主催者側で準備いたします。指定された演題番号のパネルに貼付してください。

1. 本文とは別に，縦 20 cm×横 70 cm に収まるように演題名・演者名・所属を記入した物をご用意ください。
2. 各ポスターパネルに貼付用押しピンと演者用リボン（ブルー）をご用意いたします。演者用リボンは前胸部にお着けになり，セッションの 10 分前迄に発表パネル前にお立ちください。
3. 発表は座長の進行により行われます。  
1 演題 10 分（発表 6 分，質疑応答 4 分）といたします。
4. 決められた時間内に撤去されなかったポスターは事務局にて破棄いたします。

※ポスターの掲示は 2 日間となります。撤去時間を過ぎて掲示してあるポスターについては，事務局が撤去し，処分することがありますので，あらかじめご承知おきください。



## 大会長講演のご案内

- 大会長講演「認知症と酸化ストレス、そして認知レジリエンス」  
日 時：10 月 13 日（金）10：50～11：50  
会 場：第 1 会場（一ツ橋ホール，3F）  
座 長：朝田 隆（メモリークリニックお茶の水）  
演 者：布村 明彦（東京慈恵会医科大学附属第三病院精神神経科）

## 特別講演のご案内

- 特別講演 I 「「生涯学」の創出に向けて；超高齢社会における加齢観の刷新をめざす学際的研究」  
日 時：10 月 13 日（金）13：10～14：10  
会 場：第 1 会場（一ツ橋ホール，3F）  
座 長：布村 明彦（東京慈恵会医科大学附属第三病院精神神経科）  
演 者：月浦 崇（京都大学大学院・環境学研究科）
- 特別講演 II 「認知症と終末期」  
日 時：10 月 13 日（金）14：25～15：25  
会 場：第 1 会場（一ツ橋ホール，3F）  
座 長：繁田 雅弘（東京慈恵会医科大学精神医学講座）  
演 者：大井 玄（都立松沢病院）

## 教育講演のご案内

- 教育講演 1「脳アミロイドアンギオパチー（CAA）：CAA 関連炎症とアミロイド関連画像異常（ARIA）を中心に」  
日 時：10 月 13 日（金）10：50～11：50  
会 場：第 2 会場（第一会議室，8F）  
座 長：涌谷 陽介（倉敷平成病院脳神経内科・認知症疾患医療センター）  
演 者：坂井 健二（新潟県厚生農業協同組合連合会上越総合病院神経内科）



- 教育講演 2 「Posterior cortical atrophy の症候学」  
 日 時：10 月 13 日（金）10：50～11：50  
 会 場：第 3 会場（第二会議室, 8F）  
 座 長：松田 実（清山会いずみの杜診療所）  
 演 者：船山 道隆（足利赤十字病院神経精神科）
  
- 教育講演 3 「治療困難な BPSD の定義とその対応；認知症医療に精神科医が必要とされるわけ」  
 日 時：10 月 13 日（金）13：10～14：10  
 会 場：第 4 会場（中会議室, 7F）  
 座 長：稲村 圭亮（東京慈恵会医科大学精神医学講座）  
 演 者：永田 智行（医療法人永光会あいらの森ホスピタル認知症疾患医療センター）
  
- 教育講演 4 「神経難病における認知症診療」  
 日 時：10 月 13 日（金）14：25～15：25  
 会 場：第 4 会場（中会議室, 7F）  
 座 長：岸本 年史（秋津鴻池病院）  
 演 者：玉岡 晃（筑波記念病院脳神経センター）
  
- 教育講演 5 「老年精神医学領域における遠隔診療の現在と未来」  
 日 時：10 月 14 日（土）10：50～11：50  
 会 場：第 1 会場（一ツ橋ホール, 3F）  
 座 長：吉岩あおい（大分大学医学部総合診療・総合内科学講座）  
 演 者：三村 将（慶應義塾大学予防医療センター）
  
- 教育講演 6 「老年精神医学領域の実践における心理専門職の役割と課題；認知症本人・家族への心理支援を中心に」  
 日 時：10 月 14 日（土）10：50～11：50  
 会 場：第 2 会場（第一会議室, 8F）  
 座 長：松田 修（上智大学総合人間科学部心理学科）  
 演 者：扇澤 史子（東京都健康長寿医療センター精神科）
  
- 教育講演 7 「福祉ネットワークからこぼれる人の支援；高齢期の幻覚妄想状態と社会的孤立」  
 日 時：10 月 14 日（土）13：10～14：10  
 会 場：第 2 会場（第一会議室, 8F）  
 座 長：齋藤 正彦（東京都立松沢病院）  
 演 者：井藤 佳恵（東京都健康長寿医療センター研究所福祉と生活ケア研究チーム）

● 教育講演 8 「認知症診療における精神療法的視点；用いる言葉と内在する stigma への着目」

日 時：10 月 14 日（土）14：20～15：20

会 場：第 2 会場（第一会議室，8F）

座 長：内海久美子（砂川市立病院精神科）

演 者：大石 智（北里大学医学部精神科学）

● 教育講演 9 「遺言能力評価について」

日 時：10 月 14 日（土）15：30～16：30

会 場：第 4 会場（中会議室，7F）

座 長：寺田 整司（岡山大学学術研究院医歯薬学域精神神経病態学）

演 者：成本 迅（京都府立医科大学大学院医学研究科精神機能病態学）

● 教育講演 10 「高齢者が被りやすい契約・商取引・社会生活上のトラブル；その実際と提言」

日 時：10 月 14 日（土）16：40～17：40

会 場：第 4 会場（中会議室，7F）

座 長：朝田 隆（メモリークリニックお茶の水）

演 者：山崎 宏（百寿グループ代表）

## シンポジウムのご案内

● 小阪憲司先生メモリアルシンポジウム

日 時：10 月 14 日（土）8：40～10：40

会 場：第 1 会場（一ツ橋ホール，3F）

座 長：池田 学（大阪大学大学院医学系研究科精神医学教室）

小田原俊成（横浜市立大学医学群保健管理センター）

1. 老年精神医学への貢献

演 者：池田 学（大阪大学大学院医学系研究科精神医学教室）

2. 神経病理学への貢献

演 者：新井 哲明（筑波大学医学医療系臨床医学域精神医学）

3. レビー小体型認知症の治療法開発における貢献

演 者：小田原俊成（横浜市立大学医学群保健管理センター）

4. 小阪憲司先生の DLB の啓発と人材育成；DLB 研究会と DLB サポートネットワークの歴史を振り返りつつ

演 者：内門 大丈（医療法人社団彰耀会メモリーケアクリニック湘南）

5. 介護者支援における貢献

演 者：眞鍋 雄太（神奈川歯科大学臨床先端系認知症医科学分野認知症・高齢者総合内科）

● 委員会企画シンポジウム 1 <多職種協働推進委員会>

「老年精神医学と多職種連携」

日 時：10月13日（金）8：40～10：40

会 場：第3会場（第二会議室，8F）

座 長：笠貫 浩史（聖マリアンナ医科大学病院神経精神科）

加藤 伸司（東北福祉大学総合福祉学部）

1. 老年精神医学における公認心理師の役割

演 者：松田 修（上智大学総合人間科学部心理学科）

2. 専門職連携教育の基本から老年精神医学における多職種連携を再考する

演 者：諏訪さゆり（千葉大学大学院看護学研究院地域創成看護学講座）

3. 知ってしまうと協働せずにはいられない認知症の人の口腔

演 者：枝広あや子（東京都健康長寿医療センター研究所自立促進と精神保健研究チーム認知症と精神保健）

4. 認知症者の活動・参加を促す作業療法

演 者：田平 隆行（鹿児島大学医学部保健学科）

● 委員会企画シンポジウム 2 <作業療法ワーキンググループ>

「認知症のリハビリテーションとは；生活機能を維持向上させるために」

日 時：10月13日（金）13：15～15：15

会 場：第3会場（第二会議室，8F）

座 長：河合 晶子（三重県こころの健康センター）

北村 立（石川県立こころの病院）

1. 認知症のリハビリテーションの紹介

演 者：山口 智晴（群馬医療福祉大学リハビリテーション学部）

2. 認知症リハビリテーションの実際：大学病院での取り組み；認知症者の在宅生活を維持するための訪問生活指導と非訪問型生活指導

演 者：堀田 牧（大阪大学大学院医学系研究科精神医学教室）

3. 認知症のリハビリテーションの実際；地域型認知症疾患医療センターの取り組み

演 者：村井 千賀（石川県立こころの病院）

4. 認知症のリハビリテーションの効果

演 者：新美 芳樹（東京大学医学部附属病院早期・探索開発推進室）

● シンポジウム 1 「高齢者うつ病の精神病理と神経病理」

日 時：10月13日（金）8：40～10：40

会 場：第1会場（一ツ橋ホール，3F）

座 長：新井 哲明（筑波大学医学医療系臨床医学域精神医学）

馬場 元（順天堂大学医学部附属順天堂越谷病院メンタルクリニック）

1. 高齢者うつ病の内因性と亜型分類

演 者：上田 諭（東京さつきホスピタル精神科）

2. 高齢者うつ病から DLB への移行について；psychiatric-onset DLB に関する議論をふまえて  
演 者：小口 芳世（聖マリアンナ医科大学神経精神科）
3. 高齢者のうつ病と認知症との生物学的オーバーラップ  
演 者：品川俊一郎（東京慈恵会医科大学精神医学講座）
4. 高齢者うつ病の神経病理  
演 者：河上 緒（公益財団法人東京都医学総合研究所分子病理・ヒストロジー解析室）

● シンポジウム 2 「これからの若い精神科医がもっと認知症を診るようになるために」

日 時：10 月 13 日（金）8：40～10：40

会 場：第 2 会場（第一会議室, 8F）

座 長：川勝 忍（福島県立医科大学会津医療センター精神医学講座）  
橋本 衛（近畿大学医学部精神神経科学教室）

1. 老年精神科医不足の現状と課題；大学教員の立場から  
演 者：小林 良太（山形大学医学部精神医学講座）
2. 無床総合病院精神科兼認知症疾患医療センターにおける活動とリクルートにおける課題  
演 者：渋谷 讓（日本海総合病院精神科）
3. 精神科病院における認知症診療の現状と若手精神科医師の育成  
演 者：深澤 隆（医療法人青仁会青南病院）
4. 若手精神科医に認知症診療のやり甲斐を伝えていくために；クリニックの立場から  
演 者：小林 直人（医療法人湖山荘あずま通りクリニック）

● シンポジウム 3 「プリオン病 update」

日 時：10 月 13 日（金）13：30～15：30

会 場：第 2 会場（第一会議室, 8F）

座 長：高尾 昌樹（国立精神・神経医療研究センター病院臨床検査部・総合内科）  
山田 正仁（国家公務員共済組合連合会九段坂病院内科（脳神経内科））

1. プリオン病診療ガイドライン 2023  
演 者：高尾 昌樹（国立精神・神経医療研究センター臨床検査部・総合内科）
2. 非典型的の病像を呈するプリオン病におけるバイオマーカーの特徴  
演 者：三條 伸夫（東京医科歯科大学脳神経内科，九段坂病院内科（脳神経内科））
3. プリオン病の画像所見とその病理学的基盤  
演 者：坂井 健二（新潟県厚生農業協同組合連合会上越総合病院神経内科）
4. ヒトにおけるプリオン病と類縁疾患の伝播  
演 者：山田 正仁（国家公務員共済組合連合会九段坂病院内科（脳神経内科），東京医科歯科大学脳神経病態学分野（脳神経内科），金沢大学）

● シンポジウム 4 「社会は認知症をどうみてきたか」

日 時：10月13日（金）15：40～17：40

会 場：第1会場（一ツ橋ホール，3F）

座 長：繁田 雅弘（東京慈恵会医科大学精神医学講座）

中西 亜紀（厚生労働省老健局）

<指定発言> 共生社会の構築を推進するための認知症基本法が成立して

演 者：中西 亜紀（厚生労働省老健局）

1. 「視線の病」としての認知症

演 者：川村 雄次（NHK 第1制作センター（福祉））

2. 認知症の人への取材と、活動をともにして見えてきたこと

演 者：銭場 裕司（毎日新聞社会部）

3. 認知症はいかに理解・包摂されようとしてきたか？；社会学から見た認知症をめぐる実践

演 者：井口 高志（東京大学大学院人文社会系研究科）

● シンポジウム 5 「神経変性疾患における疾患スペクトラムをどう考えるのか」

日 時：10月13日（金）15：40～17：40

会 場：第2会場（第一会議室，8F）

座 長：笠貫 浩史（聖マリアンナ医科大学病院神経精神科）

品川俊一郎（東京慈恵会医科大学精神医学講座）

1. 非定型 AD からみた疾患スペクトラム

演 者：檜林 哲雄（兵庫県立リハビリテーション西播磨病院）

2. FTLD からみた疾患スペクトラム

演 者：品川俊一郎（東京慈恵会医科大学精神医学講座）

3. PDD/DLB からみた疾患スペクトラム

演 者：岩田 邦幸（名古屋大学精神科）

4. 老年精神医学における類型と疾患単位

演 者：笠貫 浩史（聖マリアンナ医科大学病院神経精神科）

● シンポジウム 6 「治療可能な認知症・早期診断と予防へのアプローチ」

日 時：10月13日（金）15：40～17：40

会 場：第3会場（第二会議室，8F）

座 長：浦上 克哉（鳥取大学医学部保健学科認知症予防学講座）

涌谷 陽介（倉敷平成病院脳神経内科・認知症疾患医療センター）

1. 一般内科疾患に伴う認知機能障害；症例を中心に

演 者：涌谷 陽介（倉敷平成病院脳神経内科・認知症疾患医療センター）

2. 脳炎・脳症による認知症

演 者：三品 雅洋（独立行政法人労働者健康安全機構東京労災病院脳神経内科）

3. 脳機能計測による認知症の早期診断と予防

演 者：児玉 直樹（新潟医療福祉大学医療技術学部診療放射線学科）

4. 診断後支援に必要な認知症予防のアドバイス

演 者：浦上 克哉（鳥取大学医学部認知症予防講座（寄付講座））

● シンポジウム 7「症例から考える、いわゆるグレイゾーンや経過観察の方の運転可否判断と復帰」

日 時：10 月 13 日（金）15：40～17：40

会 場：第 4 会場（中会議室，7F）

座 長：朝田 隆（メモリークリニックお茶の水，東京医科歯科大学）

堀川 悦夫（福岡国際医療福祉大学）

1. 加齢によるワーキングメモリー機能の変化と運転への影響

演 者：苧阪 直行（京都大学名誉教授）

2. 認知機能低下の方への運転断念の勧奨とその後のフォロー

演 者：井手 芳彦（佐世保中央病院認知症疾患医療センター）

3. 他院からの紹介を受けての運転可否判断の諸問題

演 者：安藤志穂里（札幌病院リハビリテーション科）

4. 職業運転者の運転可否判断と復職支援

演 者：一杉 正仁（滋賀医科大学社会医学講座）

● シンポジウム 8「高齢者の孤独の現状理解とその対策」

日 時：10 月 14 日（土）8：40～10：40

会 場：第 2 会場（第一会議室，8F）

座 長：大塚耕太郎（岩手医科大学神経精神科学講座）

忽滑谷和孝（東京慈恵会医科大学附属柏病院精神神経科）

1. 孤独の現状と孤独に影響を与える因子

演 者：忽滑谷和孝（東京慈恵会医科大学附属柏病院精神神経科）

2. 孤独と健康被害

演 者：小林 幸恵（西九州大学看護学部看護学科）

3. 孤独と自殺

演 者：大塚耕太郎（岩手医科大学医学部神経精神科学講座，岩手医科大学医学部災害・地域精神医学講座，岩手県こころのケアセンター）

4. 団地自治会による一人暮らし高齢者の孤独死予防の取り組み

演 者：田中 博子（帝京科学大学医療科学部看護学科）

● シンポジウム 9「老年期精神障害と認知症病態の鑑別・併存を臨床・病理の立場からそれぞれ考える」

日 時：10 月 14 日（土）13：15～15：15

会 場：第 1 会場（一ツ橋ホール，3F）

座 長：河上 緒（東京都医学総合研究所分子病理・ヒストロジー解析室）

品川俊一郎（東京慈恵会医科大学精神医学講座）

1. アルツハイマー病を背景とした老年期精神障害

演 者：鐘本 英輝（大阪大学大学院医学系研究科精神医学教室）

2. レビー小体病を背景とした老年期精神障害  
演 者：小林 良太（山形大学医学部精神医学講座）
3. 精神疾患との鑑別を要する経過を呈した前頭側頭葉変性症症例についてタウイメージングを用いた検証  
演 者：互 健二（量子科学技術研究開発機構脳機能イメージング研究部，東京慈恵会医科大学精神医学講座）
4. 神経病理からみた老年期精神障害と認知症病態；タウオパチーを中心に  
演 者：河上 緒（公益財団法人東京都医学総合研究所分子病理・ヒストロジー解析室）

● シンポジウム 10「高齢者の QOL を改めて考える」

日 時：10月14日（土）13：15～15：15

会 場：第4会場（中会議室，7F）

座 長：忽滑谷和孝（東京慈恵会医科大学附属柏病院精神神経科）

宮川 晃一（順天堂大学医学部附属浦安病院メンタルクリニック）

1. 看護からみた高齢者の QOL とその関わり  
演 者：永野 栄美（慈恵柏看護専門学校）
2. 認知症疾患を持つ人の QOL 評価  
演 者：竹之下慎太郎（岡山大学病院精神科神経科）
3. QOL 研究の潮流と展望  
演 者：新潟 大和（青森県立保健大学理学療法学科）
4. 高齢者の主観的幸福感・QOL を高めるために精神科医にできること；サクセスフル・エイジングのためのメンタルヘルス  
演 者：喜田 恒（慶應義塾大学医学部精神・神経科学教室，社会医療法人あさかホスピタル）

● シンポジウム 11「アルツハイマー病疾患修飾薬をめぐる諸課題」

日 時：10月14日（土）15：30～17：40

会 場：第1会場（一ツ橋ホール，3F）

座 長：池田 学（大阪大学大学院医学系研究科精神医学教室）

布村 明彦（東京慈恵会医科大学附属第三病院精神神経科）

1. アルツハイマー病疾患修飾療法の現状と展望  
演 者：小野賢二郎（金沢大学医薬保健研究域脳神経内科学）
2. 治療導入からフォローアップ時の脳画像と体液バイオマーカー  
演 者：田中 稔久（三重大学医学部神経・筋病態学）
3. 治療導入からフォローアップ時の臨床評価  
演 者：数井 裕光（高知大学医学部神経精神医学講座）
4. 社会実装に向けた歩みと展望  
演 者：栗田 主一（東京都健康長寿医療センター・認知症未来社会創造センター，社会福祉法人浴風会認知症介護研究・研修東京センター）
5. 総括  
演 者：池田 学（大阪大学大学院医学系研究科精神医学教室）



● シンポジウム 12 「認知症と発達障害」

日 時：10 月 14 日（土）15：30～16：30

会 場：第 2 会場（第一会議室，8F）

座 長：上村 直人（高知大学医学部神経精神科学教室）

橋本 衛（近畿大学医学部神経精神科学教室）

1. MCI と高齢期の ADHD

演 者：上村 直人（高知大学保健管理センター）

2. 意味性認知症と自閉スペクトラム症

演 者：佐久田 静（近畿大学病院神経精神科学教室・メンタルヘルス科）

3. 支援者にとっての認知症困難事例とされて表面化する地域の発達障害高齢者；認知症初期集中支援チームの取り組みから

演 者：繁信 和恵（公益財団法人浅香山病院精神科／大阪大学大学院連合小児発達学研究所行動神経学神経精神医学寄附講座）

● シンポジウム 13 「精神科医が知っておくべき稀な遺伝性認知症」

日 時：10 月 14 日（土）16：40～17：40

会 場：第 2 会場（第一会議室，8F）

座 長：中村 雅之（鹿児島大学病院メンタルケアセンター神経科精神科）

森 康治（大阪大学大学院医学系研究科精神医学教室）

1. 遺伝性前頭側頭型認知症の臨床と病態

演 者：森 康治（大阪大学大学院医学系研究科精神医学教室）

2. 精神科医が知っておくべき稀な遺伝性認知症；アルツハイマー病，神経軸索スフェロイド形成を伴う遺伝性びまん性白質脳症，神経核内封入体病，など

演 者：石塚 貴周（鹿児島大学大学院医歯学総合研究科精神機能病学分野）

3. 精神科医が知っておくべき稀な遺伝性認知症；パーキンソン病，レビー小体型認知症，血管性認知症（CADASIL，CARASIL など），神経有棘赤血球症

演 者：崎元 仁志（鹿児島大学大学院医歯学総合研究科精神機能病学分野）



## ランチョンセミナーのご案内

10月13日（金）12:00～13:00

● ランチョンセミナー 1

テーマ：アルツハイマー病の整理—レカネマブの社会実装を迎えて—

演者：笠貫 浩史（聖マリアンナ医科大学神経精神科学）

座長：繁田 雅弘（東京慈恵会医科大学精神医学講座）

会場：第1会場（一ツ橋ホール, 3F）

共催：エーザイ株式会社, バイオジェン・ジャパン株式会社

● ランチョンセミナー 2

テーマ：認知症における「アジテーション」とはなにか？

演者：品川俊一郎（東京慈恵会医科大学 精神医学講座）

座長：北村 立（石川県立こころの病院）

会場：第2会場（第一会議室, 8F）

共催：大塚製薬株式会社 メディカル・アフェアーズ部

● ランチョンセミナー 3

テーマ：**Biomarker** を用いた神経変性疾患の臨床診断とその問題点

演者：澤本 伸克（京都大学大学院医学研究科 人間健康科学系専攻 近未来型人間健康科学融合ユニット）

座長：加藤 忠史（順天堂大学大学院医学研究科 精神・行動科学）

会場：第4会場（中会議室, 7F）

共催：日本メジフィジックス株式会社

後援：日本脳神経核医学研究会／日本核医学会

10月14日（土）12:00～13:00

● ランチョンセミナー 4

テーマ：疾患修飾薬の投与を見据えた ARIA マネジメントと診療科連携について

演者：冨本 秀和（三重大学大学院, 済生会明和病院）

座長：池田 学（大阪大学大学院医学系研究科精神医学教室）

会場：第1会場（一ツ橋ホール, 3F）

共催：エーザイ株式会社, バイオジェン・ジャパン株式会社

● ランチョンセミナー 5

テーマ：バイオマーカーは認知症実地臨床では無用の長物か？

座長：三村 将（慶應義塾大学 予防医療センター）

演者：島田 斉（新潟大学脳研究所 統合脳機能研究センター 臨床機能脳神経学分野）

会場：第 2 会場（第一会議室, 8F）

共催：日本イーライリリー株式会社 研究開発・メディカルアフェアーズ統括本部

## 共催企画セミナーのご案内

10 月 14 日（土）10:50~11:50

● 腰椎穿刺共催企画セミナー

テーマ：腰椎穿刺（LP: lumbar puncture）セミナー

アドバイザー：西尾 慶之（大阪大学大学院連合小児発達学研究所 行動神経学・神経精神医学 寄附講座）

講演テーマ：AD バイオマーカー測定のための脳脊髄液採取；準備, 腰椎穿刺, 検体採取・提出の留意点

実技テーマ：腰椎穿刺（LP: lumbar punctur）を学ぼう

演者／手技者名：鐘本 英輝（大阪大学大学院医学系研究科 精神医学教室）

手技サポート：佐竹 祐人（大阪大学大学院医学系研究科 精神医学教室）

会場：第 5 会場（第三会議室, 8F）

共催：エーザイ株式会社, バイオジェン・ジャパン株式会社

## 簡易な神経所見のとり方実践講座のご案内

日時：10 月 14 日（土）8:40~11:40

会場：第 3 会場（第二会議室, 8F）

参加受付：参加申込は締切ました。当日参加受付の可否は受付にてご確認をお願いします。

プログラム：

1. 趣旨説明と問診事項の解説

講師：浦上 克哉（鳥取大学医学部保健学科認知症予防学講座）

2. 病的所見の画像を用いた解説

講師：内藤 寛（日本赤十字社伊勢赤十字病院脳神経内科）

3. 神経所見のとり方の実践講習

講師：石渡 明子（日本医科大学付属病院脳神経内科）

浦上 克哉（鳥取大学医学部保健学科認知症予防学講座）

北村 伸（(医社) 仁寿会中村病院神経内科）

高橋 純子（北上済生会病院）

内藤 寛（日本赤十字社伊勢赤十字病院脳神経内科）  
三品 雅洋（（独）労働者健康安全機構東京労災病院脳神経内科）  
涌谷 陽介（倉敷平成病院脳神経内科・認知症疾患医療センター）

※参加者は大会参加登録のうえ、ご来場いただきますようお願いいたします。

## 神経学的所見のとり方実践講座(アップグレードコース)のご案内

日 時：10月14日（土）13:15～16:15

会 場：第3会場（第二会議室，8F）

参加受付：参加申込は締切ました。当日参加受付の可否は受付にてご確認をお願いします。

プログラム：

1. 画像の読み方実践講座

講 師：三品 雅洋（（独）労働者健康安全機構東京労災病院脳神経内科）

2. 病的神経所見とその取り方

講 師：内藤 寛（日本赤十字社伊勢赤十字病院脳神経内科）

3. 神経所見のとり方の実践講習

講 師：石渡 明子（日本医科大学付属病院脳神経内科）

浦上 克哉（鳥取大学医学部保健学科認知症予防学講座）

高橋 純子（北上済生会病院）

内藤 寛（日本赤十字社伊勢赤十字病院脳神経内科）

三品 雅洋（（独）労働者健康安全機構東京労災病院脳神経内科）

涌谷 陽介（倉敷平成病院脳神経内科・認知症疾患医療センター）

※参加者は大会参加登録のうえ、ご来場いただきますようお願いいたします。

第38回日本老年精神医学会，理事会，評議員会，総会，入会・住所変更，論文投稿等

公益社団法人日本老年精神医学会

〒162-0825 東京都新宿区神楽坂4-1-1 オザワビル2F

Tel: 03-5206-7434 Fax: 03-5206-7757 E-mail: rouseioffice@rounen.org



# 第 38 回秋季日本老年精神医学会 日程表

【10月13日（金）】総合受付（参加登録受付）7：45～16：00

	第 1 会場 (一ツ橋ホール, 3F)	第 2 会場 (第一会議室, 8F)
8:30	8:30～8:40 開会の辞	
9:00	8:40～10:40 シンポジウム 1 「高齢者うつ病の精神病理と神経病理」 座長：新井 哲明 馬場 元 演者：上田 諭 小口 芳世 品川俊一郎 河上 緒	8:40～10:40 シンポジウム 2 「これからの若い精神科医が もっと認知症を診るようになるために」 座長：川勝 忍 橋本 衛 演者：小林 良太 渋谷 譲 深澤 隆 小林 直人
10:00		
11:00	10:50～11:50 大会長講演 「認知症と酸化ストレス、そして認知レジリエンス」 座長：朝田 隆 演者：布村 明彦	10:50～11:50 教育講演 1 「脳アミロイドアンギオパチー(CAA)；CAA 関連炎症 とアミロイド関連画像異常 (ARIA) を中心に」 座長：涌谷 陽介 演者：坂井 健二
12:00	12:00～13:00 ランチョンセミナー 1 「アルツハイマー病の整理 ーレカネマブの社会実装を迎えてー」 座長：繁田 雅弘 演者：笠貫 浩史 エーザイ株式会社, バイオジェン・ジャパン株式会社	12:00～13:00 ランチョンセミナー 2 「認知症における「アジテーション」とはなにか？」 座長：北村 立 演者：品川俊一郎 大塚製薬株式会社 メディカル・アフケアーズ部
13:00		
14:00	13:10～14:10 特別講演 I 「[生涯学]の創出に向けて；超高齢社会における 加齢観の刷新をめざす学際的研究」 座長：布村 明彦 演者：月浦 崇	13:30～15:30 シンポジウム 3 「プリオン病 update」 座長：高尾 昌樹 山田 正仁 演者：高尾 昌樹 三條 伸夫 坂井 健二 山田 正仁
15:00	14:25～15:25 特別講演 II 「認知症と終末期」 座長：繁田 雅弘 演者：大井 玄	
16:00	15:40～17:40 シンポジウム 4 「社会は認知症をどうみてきたか」 座長：繁田 雅弘 中西 亜紀 指定発言：中西 亜紀 演者：川村 雄次 銭場 裕司 井口 高志	15:40～17:40 シンポジウム 5 「神経変性疾患における疾患スペクトラムを どう考えるのか」 座長：笠貫 浩史 品川俊一郎 演者：樫林 哲雄 品川俊一郎 岩田 邦幸 笠貫 浩史
17:00		

第 3 会場 (第二会議室, 8F)	第 4 会場 (中会議室, 7F)	ポスター会場 (707 会議室, 7F)	
		8:30~12:00 ポスター貼付	8:30
<p>8:40~10:40 委員会企画シンポジウム 1 ＜多職種協働推進委員会＞ 「老年精神医学と多職種連携」 座長：笠貫 浩史 加藤 伸司 演者：松田 修 諏訪さゆり 枝広あや子 田平 隆行</p>	<p>8:40~9:16 口頭発表 地域・疫学・予防① OA-1~3 座長：矢野 勝治</p> <p>9:20~9:56 口頭発表 地域・疫学・予防② OA-4~6 座長：石川 智久</p> <p>10:00~11:00 口頭発表 症候・脳画像・神経心理 OA-7~11 座長：松岡 照之</p>		9:00 10:00
<p>10:50~11:50 教育講演 2 「Posterior cortical atrophy の症候学」 座長：松田 実 演者：船山 道隆</p>	<p>11:05~11:29 口頭発表 検査 OA-13~14 座長：文 鐘玉</p>		11:00
	<p>12:00~13:00 ランチオンセミナー 3 「Biomarker を用いた神経変性疾患の 臨床診断とその問題点」 座長：加藤 忠史 演者：澤本 伸克 日本メジフィジックス株式会社</p>	12:00~17:40 ポスター閲覧	12:00 13:00
<p>13:15~15:15 委員会企画シンポジウム 2 ＜作業療法ワーキンググループ＞ 「認知症のリハビリテーションとは； 生活機能を維持向上させるために」 座長：河合 晶子 北村 立 演者：山口 智晴 堀田 牧 村井 千賀 新美 芳樹</p>	<p>13:10~14:10 教育講演 3 「治療困難な BPSD の定義と その対応：認知症医療に精神科医が 必要とされるわけ」 座長：稲村 圭亮 演者：永田 智行</p> <p>14:25~15:25 教育講演 4 「神経難病における認知症診療」 座長：岸本 年史 演者：玉岡 晃</p>	<p>ポスター発表</p> <p>13:15~13:55 DLB PA-1~4 座長：東 晋二</p> <p>14:00~14:30 VaD・FTD・PSP PA-5~7 座長：船山 道隆</p> <p>14:35~15:15 神経心理・脳画像① PA-8~11 座長：互 健二</p> <p>15:20~15:50 神経心理・脳画像② PA-12~14 座長：安野 史彦</p>	14:00 15:00
<p>15:40~17:40 シンポジウム 6 「治療可能な認知症・早期診断と 予防へのアプローチ」 座長：浦上 克哉 浦谷 陽介 演者：浦谷 陽介 三品 雅洋 児玉 直樹 浦上 克哉</p>	<p>15:40~17:40 シンポジウム 7 「症例から考える、いわゆる グレイゾーンや経過観察の方の 運転可否判断と復帰」 座長：朝田 隆 堀川 悦夫 演者：荻阪 直行 井手 芳彦 安藤志穂里 一杉 正仁</p>	<p>15:55~16:35 BPSD・希死念慮 PA-15~18 座長：古田 光</p>	16:00 17:00

【10月14日（土）】総合受付（参加登録受付）7:45～16:00

	第1会場 (一ツ橋ホール, 3F)	第2会場 (第一会議室, 8F)
7:30		
8:00		
9:00	8:40～10:40 小阪憲司先生メモリアルシンポジウム 座長：池田 学 小田原俊成 演者：池田 学 新井 哲明 小田原俊成 内門 大丈 真鍋 雄太	8:40～10:40 シンポジウム 8 「高齢者の孤独の現状理解とその対策」 座長：大塚耕太郎 忽滑谷和孝 演者：忽滑谷和孝 小林 幸恵 大塚耕太郎 田中 博子
10:00		
11:00	10:50～11:50 教育講演 5 「老年精神医学領域における遠隔診療の現在と未来」 座長：吉岩あおい 演者：三村 將	10:50～11:50 教育講演 6 「老年精神医学領域の実践における心理専門職の役割と課題：認知症本人・家族への心理支援を中心に」 座長：松田 修 演者：扇澤 史子
12:00	12:00～13:00 ランチョンセミナー 4 「疾患修飾薬の投与を見据えたARIA マネジメントと診療科連携について」 座長：池田 学 演者：冨本 秀和 エーザイ株式会社	12:00～13:00 ランチョンセミナー 5 「バイオマーカーは認知症実地臨床では無用の長物か？」 座長：三村 將 演者：鳥田 斉 日本イーライリリー株式会社 研究開発・メディカルアフェアーズ統括本部
13:00		
14:00	13:15～15:15 シンポジウム 9 「老年期精神障害と認知症病態の鑑別・併存を臨床・病理の立場からそれぞれ考える」 座長：河上 緒 品川俊一郎 演者：鐘本 英輝 小林 良太 互 健二 河上 緒	13:10～14:10 教育講演 7 「福祉ネットワークからこぼれる人の支援：高齢期の幻覚妄想状態と社会的孤立」 座長：齋藤 正彦 演者：井藤 佳恵
15:00		14:20～15:20 教育講演 8 「認知症診療における精神療法的視点：用いる言葉と内在する stigma への着目」 座長：内海久美子 演者：大石 智
16:00	15:30～17:40 シンポジウム 11 「アルツハイマー病疾患修飾薬をめぐる諸課題」 座長：池田 学 布村 明彦 演者：小野賢二郎 田中 稔久 数井 裕光 粟田 圭一 池田 学	15:30～16:30 シンポジウム 12 「認知症と発達障害」 座長：上村 直人, 橋本 衛 演者：上村 直人, 佐久田 静 繁信 和恵
17:00		16:40～17:40 シンポジウム 13 「精神科医が知っておくべき稀な遺伝性認知症」 座長：中村 雅之, 森 康治 演者：森 康治, 石塚 貴周 崎元 仁志
	17:40～ 閉会の辞	

第 3 会場 (第二会議室, 8F)	第 4 会場 (中会議室, 7F)	ポスター会場 (707 会議室, 7F)	
		7:45~15:00 ポスター閲覧	7:30 8:00
8:40~11:40 簡易な神経所見のとり方実践講座 ※要別途申込 講師：石渡 明子 浦上 克哉 北村 伸 高橋 純子 内藤 寛 三品 雅洋 涌谷 陽介	8:40~9:16 口頭発表 薬物療法 OB-1~3 座長：小原 知之	ポスター発表 9:15~9:45 リエゾン・身体合併症 PB-1~3 座長：柴田 展人 9:50~10:40 自動車運転・家族支援 PB-4~8 座長：中野 倫仁 10:45~11:35 統計調査・リスク評価 PB-9~13 座長：森 康治	9:00 10:00
	9:20~9:56 口頭発表 非薬物療法・ケア OB-4~6 座長：吉山 顕次		10:00~10:36 口頭発表 DLB OB-7~9 座長：檜林 哲雄
	10:40~11:16 口頭発表 FTD・神経核内封入体病 OB-10~12 座長：福原 竜治		
			12:00
13:15~16:15 神経学的所見のとり方実践講座 (アップグレードコース) ※要別途申込 講師：石渡 明子 浦上 克哉 高橋 純子 内藤 寛 三品 雅洋 涌谷 陽介	13:15~15:15 シンポジウム 10 「高齢者の QOL を改めて考える」 座長：忽滑谷和孝 宮川 晃一 演者：永野 栄美 竹之下慎太郎 新岡 大和 喜田 恒	第 5 会場 (第三会議室, 8F) 共催企画セミナー (講演・実技) 10:50~11:50 「腰椎穿刺共催企画セミナー」 アドバイザー：西尾 慶之 演者/手技者：鐘本 英輝 手技サポート：佐竹 祐人 エーザイ株式会社	13:00 14:00
		15:00~16:00 ポスター撤去	15:00
	15:30~16:30 教育講演 9 「遺言能力評価について」 座長：寺田 整司 演者：成本 迅		16:00
	16:40~17:40 教育講演 10 「高齢者が被りやすい契約・商取引・社会 生活上のトラブル：その実際と提言」 座長：朝田 隆 演者：山崎 宏		17:00



# 第 38 回秋季日本老年精神医学会 一般演題 座長・演者一覧

## 口頭発表

第 4 会場 (中会議室, 7F)						
		地域・疫学・予防①			地域・疫学・予防②	
10 月 13 日 (金)	座 長	矢野 勝治		座 長	石川 智久	
	8:40~8:52	OA-1	小原 知之	9:20~9:32	OA-4 内海 智博	
	8:52~9:04	OA-2	井出 恵子	9:32~9:44	OA-5 宗 久美	
	9:04~9:16	OA-3	西川 直人	9:44~9:56	OA-6 小菅 英恵	
			症候・脳画像・神経心理			検査
	座 長	松岡 照之		座 長	文 鐘玉	
	10:00~10:12	OA-7	亀山 洋			OA-12 演題取り下げ
	10:12~10:24	OA-8	片上 茂樹	11:05~11:17	OA-13	田中 康裕
	10:24~10:36	OA-9	今井 鮎	11:17~11:29	OA-14	中西 幸治
	10:36~10:48	OA-10	永田 智行			
	10:48~11:00	OA-11	大西 弘樹			
10 月 14 日 (土)			薬物療法			非薬物療法・ケア
	座 長	小原 知之		座 長	吉山 顕次	
	8:40~8:52	OB-1	中澤 太郎	9:20~9:32	OB-4 本家 寿洋	
	8:52~9:04	OB-2	長濱 道治	9:32~9:44	OB-5 土井 貴弘	
	9:04~9:16	OB-3	齊之平一隆	9:44~9:56	OB-6 川崎 洋介	
			DLB			FTD・神経核内封入体病
	座 長	樫林 哲雄		座 長	福原 竜治	
	10:00~10:12	OB-7	森岡 大智	10:40~10:52	OB-10	大越 麻加
	10:12~10:24	OB-8	深津 孝英	10:52~11:04	OB-11	丸山惣一郎
	10:24~10:36	OB-9	坪内 賢太	11:04~11:16	OB-12	今村 研介

## ポスター発表

ポスター会場 (707 会議室, 7F)						
10 月 13 日 (金)	座長	DLB	座長	VaD・FTD・PSP	座長	神経心理・脳画像①
	13:15~13:25	PA-1 石丸 大貴	14:00~14:10	PA-5 普天間国博	14:35~14:45	PA-8 安野 史彦
	13:25~13:35	PA-2 黒須 貞利	14:10~14:20	PA-6 三木 知子	14:45~14:55	PA-9 岡本 一枝
	13:35~13:45	PA-3 岸本 由紀	14:20~14:30	PA-7 熊谷 亮	14:55~15:05	PA-10 高橋 誠人
	13:45~13:55	PA-4 大山 千尋			15:05~15:15	PA-11 東 晋二
	座長	神経心理・脳画像②	座長	BPSD・希死念慮		
	15:20~15:30	PA-12 古川はるこ	15:55~16:05	PA-15 松井 仁美		
	15:30~15:40	PA-13 柳渡 彩香	16:05~16:15	PA-16 田平 隆行		
	15:40~15:50	PA-14 藤井 一輝	16:15~16:25	PA-17 永倉 暁人		
			16:25~16:35	PA-18 扇澤 史子		
10 月 14 日 (土)	座長	リエゾン・身体合併症	座長	自動車運転・家族支援	座長	統計調査・リスク評価
	9:15~9:25	PB-1 田端 一基	9:50~10:00	PB-4 上村 直人	10:45~10:55	PB-9 古田 光
	9:25~9:35	PB-2 副島 沙彩	10:00~10:10	PB-5 山本 保天	10:55~11:05	PB-10 南 ひかる
	9:35~9:45	PB-3 西園 久慧	10:10~10:20	PB-6 作田 直人	11:05~11:15	PB-11 松原 拓郎
			10:20~10:30	PB-7 佐藤 順子	11:15~11:25	PB-12 竹之下慎太郎
			10:30~10:40	PB-8 福留 尚典	11:25~11:35	PB-13 Yoshitaka Nishizawa

## プログラム委員（五十音順）

朝田 隆	(メモリークリニックお茶の水)
新井 哲明	(筑波大学医学医療系臨床医学域精神医学)
新井 平伊	(アルツククリニック東京)
栗田 主一	(東京都健康長寿医療センター研究所認知症未来社会創造センター)
池田 学	(大阪大学大学院医学系研究科情報統合医学講座精神医学教室)
内海久美子	(砂川市立病院精神科)
浦上 克哉	(鳥取大学医学部保健学科認知症予防学講座)
檜林 哲雄	(兵庫県立リハビリテーション西播磨病院精神科)
數井 裕光	(高知大学医学部神経精神科学教室)
加藤 伸司	(東北福祉大学総合福祉学部)
鐘本 英輝	(大阪大学大学院医学系研究科精神医学)
上村 直人	(高知大学医学部神経精神科学教室)
川勝 忍	(福島県立医科大学会津医療センター精神医学講座)
岸本 年史	(秋津鴻池病院)
北村 立	(石川県立こころの病院)
齋藤 正彦	(東京都立松沢病院)
繁田 雅弘	(東京慈恵会医科大学精神医学講座)
品川俊一郎	(東京慈恵会医科大学精神医学講座)
高橋 秀俊	(高知大学医学部神経精神科学講座)
玉岡 晃	(筑波記念病院脳神経センター)
中村 雅之	(鹿児島大学病院メンタルケアセンター神経科精神科)
中村 祐	(香川大学医学部精神神経医学講座)
成本 迅	(京都府立医科大学大学院医学研究科精神機能病態学)
忽滑谷和孝	(東京慈恵会医科大学附属柏病院精神神経科)
布村 明彦	(東京慈恵会医科大学附属第三病院精神神経科)
橋本 衛	(近畿大学医学部精神神経科学教室)
馬場 元	(順天堂大学医学部附属順天堂越谷病院メンタルクリニック)
平川 淳一	((医社) 光生会平川病院)
船山 道隆	(足利赤十字病院神経精神科)
文 鐘玉	(慶應義塾大学医学部精神神経科学教室)
松田 修	(上智大学総合人間科学部心理学科)
三品 雅洋	(東京労災病院)
三村 將	(慶應義塾大学予防医療センター)
矢野 勝治	(東京慈恵会医科大学附属第三病院精神神経科)
山田 正仁	(国家公務員共済組合連合会九段坂病院内科 (脳神経内科))
吉岩あおい	(大分大学医学部総合診療・総合内科学講座)
吉山 顕次	(大阪大学大学院医学研究科内科系臨床医学専攻情報統合医学精神医学)
涌谷 陽介	(倉敷平成病院脳神経内科・認知症疾患医療センター)

